

2022（令和4）年度 入学者選抜試験問題

一般選抜Ⅱ期

国語総合（近代以降）（60分）

注意事項

1. 監督者の指示があるまで問題を開かないでください。
2. 問題冊子は17ページあります。ページの落丁、乱丁および解答用紙の汚れなどに気づいた場合は、無言で手を高く挙げて監督者に知らせてください。
3. 監督者の指示にしたがって、解答用紙に氏名、受験番号をそれぞれ正しく記入してください。
4. 解答は、次の（例）を参考にし、解答用紙の解答記入欄にマークしてください。

（例）解答番号1に対して、⑤と解答する場合

解答番号	解答記入欄
1	① ② ③ ④ ⑤

5. 解答用紙に正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
6. 訂正箇所は、消しゴムできれいに消してください。
7. 解答欄には、関係のない符号や文字あるいはメモなどを記入しないでください。
8. 解答用紙を折ったり汚したりしないでください。
9. 問題冊子の余白部分は、適宜利用してもかまいません。
10. 声を出して問題を読んではいけません。
11. 不正行為について
 - ①不正行為に対しては厳正に対処します。
 - ②不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が直接注意します。
 - ③不正行為を行った場合は、全ての科目が失格となります。
12. 気分が悪くなった場合は、無言で手を挙げて監督者に知らせてください。
13. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

国語

(解答番号は 1) (39)

□ 1 次の文章を読んで、後の問い (問1～7) に答えよ。 解答番号は □ 1 □ 12 □

「山のあなたの空遠く、幸い住むと人の言う」。

(a) カール・ブッセの詩が上田敏により翻訳されたのは、明治三八年(一九〇五年)である。それから一〇〇年余が経ち、幸福は「山のあなた」まで尋ね歩きに行かなくとも、(ア) ショウヒ活動や投資(たとえば教育への投資など)で手に入れ、愉しむことができる時代になった。たとえば経済学では、幸福度を金銭的価値と同様に扱って議論ができるとさえ考えられている。心理学研究においては個人の主観を尋ねることにより、外から観察しただけではわからないような個人の心のあり様に(イ) ショウテンをあてることを可能にしてきた。そして「幸福を感じているのはどういう人か?」というような問いにも答えることができるようになった。

社会の近代化にともない、神や自然などの超越性の領域(運に左右されるもの)としての幸福観から、個人的領域(自分で得るもの)としての幸福観へとシフトし、幸福は自らの資本を投じることで拡大させることができる私的な財として考えられるようになってきた。人々は「我」の幸福の増大を求め、学問も「我」の幸福について解明しようとしてきた。

筆者は幸福の意味の比較文化研究を行ってきたが、様々な調査データを総合すると、北米のように社会的流動性が高く(Ⅱ引越しや転職が多く、つきあう相手が変わりやすい)、個人の自由を保障することを重視する「相互独立的」な文化においては、自分の現状に満足し、誇りを持つことが幸福をもたらしている。現状の幸福はさらなる投資を招き、将来の幸福の増大をもたらすとも考えられており、安寧よりは精神的コウ(ウ)ヨウが求められる。こうした北米型の文化的価値の特徴は、A「我」の幸福論との相性が良い。それゆえ、自由な選択によって個人の幸福を支える社会制度や公共のあり方が求められて、グローバル化とともに世界に広がった。

(注1) OECDなどで個人の幸福感や生活の質への満足についての調査が実施され、「個人の幸福を社会はどれだけ支えているか」という視点からも国別ランキングとして評価されている。こうしたランキングでは、大抵、(注2) GDP水準の高い国々の位置づけは高くなる。しかし実は日本の幸福度はGDP水準に比すれば相対的にいって低いものである。日本の幸福度は

なぜ低いのか。社会保障や労働問題の問題など、様々な解釈がなされ、議論が起こった。

しかし平均値の比較によるランキングは、本当に意味のあるものだろうか。そもそも幸福とは何か、その意味するところや実現方法は、社会や文化によって異なるのではないか。実際日本の幸福のあり方は北米型とは違っている。日本は相対的には社会的流動性が低く、対人関係のバランスを重視する「相互協調的」な文化であるといわれている。興奮よりは(エ)オダやかな状況や感情が幸福をもたらすとされ、精神的安寧が求められる。そして^B幸せすぎること
はネガティブな結果も招きうると考えられている。たとえば「周りが見えなくなる」「現状に安住してしまい、成長がとまる」「良いことが続くこと次に何が起こるかと不安になる」といった負の側面が認識されている。それゆえに、幸せすぎるとかえって良くない(不安になる)ということが生じるし、さらには「我」だけの幸福ではなく、他者とのバランスや「人並み感」も大切にされている。こうした考えは、古い世代や農山村部に限ったことではなく、都市部の若者にも共有されている。

日本型の幸福には、個が獲得するという要素だけではなく、前近代的な「運命や周囲にゆだねる幸福」が根付いており、バランス志向的である。不注意になっていないだろうか、他者を(オ)サクシユしていないだろうか、とチェックし、幸福なときに自らを制御するシステムを発動させている。こうしたバランス志向的的幸福は、しがらみをもたらした側面もある一方、世界の現状において、新しい(b)パラダイムと価値を提供できるところもあるのではなからうか。

「私の幸福」の追求は、社会の資源が増大し成長している状況下では、競争により新たな生産性をもたらす適応的方略であろう。一方で資源が定常化する低成長社会においては、^cバランス志向的的幸福が適応的とも見えてくる。バランス志向的的幸福は、「場」の幸福を考えることにもつながる。人は共同体(地域や会社組織など)をつくり、その中で様々な資源を他者と共有して暮らしている。一人一人が私の幸福を求めて競争的に奪い合えば、いつかは「場」の資源は枯渇する。こうした時に、「場」の資源をいかにめぐみ、人の幸福を育てる場所として維持させるのかというのは、重要な課題である。^dそこでは場の幸福のために個人の幸福が犠牲になることが無いような、努力や仕掛けも必要である。

東日本大震災後、被災地以外の地域でも、他者との結びつきや日々の日常への感謝の念が増した人たちが一定数おり、そのような人たちは日々の当たり前の生活への幸福を感じやすくなっていったことが示された。リスクへの感度があがることは、私たちの「場」への幸福への志向性をもたらす。新しいパラダイムにふさわしい議論の提示と、そのためのあらたな指標作りが急務であろう。

(内田由紀子『我』と『場』の幸福論「より」)

(注)

1 OECD — 経済協力開発機構。加盟各国による発展途上国援助の促進と調整を目的とした国際機関。

2 GDP — 国内総生産。一定期間内に、その国内で新たに生み出されたモノやサービスの付加価値を算出したもの。

問1 傍線部(ア)～(オ)に相当する漢字を含むものを、次の各群の①～④のうちから、それ

ぞれ一つずつ選べ。解答番号は 1 5。

(ア) ショウヒ 1

① 二人の衝突はフカヒと言われる

② 利息は元金にセイヒレイする

③ コウツウヒが多く掛かる

④ 開校三十周年のキネンヒを建てる

(イ) ショウテン 2

① ニッショウ時間の少ない地域

② 不要な書類をシヨウキヤクロに入れる

③ 戦後、シヨウドにバラックを建てた

④ 講師のコウシヨウな話に聞き入る

(ウ) コウヨウ 3

① ヨクヨウに注意しながら英会話を学ぶ

② 突然のできごとにドウヨウした

③ 世界の民族ブヨウについて調べる

④ 三年ぶりの帰省で祖母とホウヨウを交わす

(エ) オダやか 4

① 体力をオンゾンして後半戦に備える

② 彼はいつでもオントウな話し方をする

③ 工事のソウオンに悩まされる

④ 高校時代のオンシに手紙を書く

(オ) サクシユ 5

① 多くの思いがコウサクして結論が出ない

② 大事なデータをサクジョしてしまう

③ 巻末のサクインで記載ページを調べる

④ 牧場でサクニユウの体験をする

問2 傍線部(a)「カール・ブッセの詩が上田敏により翻訳された」とあるが、その翻訳詩が収められている詩集と、同じ年(一九〇五年)に刊行された『吾輩は猫である』の作者の作品として適当なものを、次の各群の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は ・ 。

・上田敏の訳詩集

① 『白羊宮』

② 『海潮音』

③ 『邪宗門』

④ 『珊瑚集』さんご

・『吾輩は猫である』の作者の作品

① 『夜明け前』

② 『蒲団』ふとん

③ 『草枕』

④ 『舞姫』

問3 傍線部(b)「パラダイム」の本文中における意味として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

① 幸福感を基準にしたものの見方・考え方

② 時代を超えたものの見方・考え方

③ 規範となるものの見方・考え方の枠組みとなる科学的業績

④ ものの見方・考え方を支配している思考の枠組み

問4 空欄 ・ に入る語句の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

① c そもそも d しかし

② c むしろ d もちろん

③ c かえって d そのうえ

④ c さらに d そして

問5 傍線部A「『我』の幸福論」とあるが、それはどういうものか。その説明として最も適

当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は10。

① 社会の近代化にともなって、幸福は神や自然など運に左右されるものだという幸福論からシフトした考え方で、自分の現状に満足し誇りを持つために自分自身が努力することこそが幸福をもたらすのだと考える幸福論。

② 幸福は自分で得るものではなく運命にゆだねるものだという前近代的な幸福論からシフトした考え方で、幸福は自らが自らの資本を投じることで拡大させることができる、私的な財なのだと考える幸福論。

③ 社会的流動性の高い北米の近代化にともなって生まれた考え方で、個人の自由が保障されることを重視し、社会制度や公共に支えられて、個人個人が自由な選択をすることが幸福につながると考える幸福論。

④ 北米型の近代的な文化的価値のもとで生まれグローバル化とともに世界に広がった考え方で、幸福は、資本投入による豊かさが国と個人にもたらすもので、幸福は経済成長と切り離せないものだとする幸福論。

問6 傍線部B「幸せすぎることはネガティブな結果も招きうると考えられている」とある

が、日本人がこのように考える理由を、筆者はどのようにとらえているか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は11。

① 日本にはいまだに幸福は運命や周囲にゆだねるものという前近代的な考え方が根付いており、分不相応な幸福に恵まれてしまうと、運命に見放されたり周囲の恨みを買ったりして幸福を失うことになるかと信じている人が多いから。

② 対人関係のバランスを重視し、精神的安寧を求める日本人は、「我」だけの幸福に溺れて自己や他者に対して不注意に陥ったり無用な軋轢あつれきを生んだりすることを敬遠し、幸せすぎることの副作用を警戒する傾向があるから。

③ 日本型の幸福は、個が獲得するという要素よりも、共同体全体の利益を優先するという側面が強いため、個人が幸せすぎることは周囲との協調を乱すものととらえられ、「我の幸福」の追求を制御しようとする社会的な意識が働くから。

④ 社会的流動性が低く「相互協動的」であることが重視される日本では、未来が現状よりも幸福であることを望むのではなく、周囲と横並びの幸福であることを希求するため、幸せすぎて周りが見えなくなることを嫌うから。

問7 この文章の内容に合致するものとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ

選べ。解答番号は 12。

① 社会資源が増大する状況下では『我』の幸福の追求が有効だが、『我』の幸福を求めて競争的に資源を奪い合うと「場」の資源は枯渇してしまふ。世界の現状を考えると、『場』の幸福の中で日々の当たり前の生活への幸福を感じることを求めるような、幸福論を考える必要があるのではないか。

② 「幸福論」には、グローバル化とともに世界に広まった「北米的な『我』の幸福論」と、前近代的な「日本的な『場』の幸福論」とがある。一見、日本的な幸福論は時代遅れにも思うが、地球上の資源が枯渇化している現状を見据えると、『我』の幸福論は捨てて『場』の幸福論に立ち返ることが必要なのではないか。

③ 幸福の意味や実現方法は社会や文化によって異なるので、個人の幸福度を平均値に換算して比較することにあまり意味はない。どのような社会であっても、各自が『我』の幸福を求めて奪い合うのではなく、「場の幸福と個人の幸福の両立」を目指して「場」の資源を育むことが重要ではないか。

④ 『我』の幸福』『場』の幸福は、どちらも大切に両立させることが大切ではあるが、今世界的に問題なのは、『場』の資源の「枯渇」である。そのような状況をもたらしたのは『我』の幸福を追求しようと経済成長を目指したことであることを反省して、全世界で低成長社会における幸福のあり方を議論するといいいのではないか。

二 次の文章を読んで、後の問い(問1～6)に答えよ。なお、設問の都合で本文の段落に1

11の番号を付してある。解答番号は13

24

1 旅を(ア)封じられてしばらく経ったあと、これはこれで普段考えたり実践できないことを経験するチャンスであるということに気がきました。

2 自分の知らない土地へ出向いたときに感じるA「アウェイ」という感覚が、私の日常にとつては必要不可欠なものでした。自分と縁もゆかりもない土地へ(イ)赴けば、私はよそ者以外の何者でもなく、現地の人たちに「馴染む」しかないという状況になります。この、馴染むしかない状況と正面から向き合うことで、その地で体験することが自分の血肉になる実感もありますし、何より、地球から「一定の範囲に生息しているだけで、地球のすべてをわかつたつもりになって、自惚れるんじゃない」と挑発されているようなあの感覚は、地球と馴染める生物になりたいという(ウ)潜在意識の願望から芽生えてくるものなのかもしれません。

3 様々な土地に行き、自分の固定観念を脇に置いて、いろんな人の習慣や考え方を理解するよう心がける。それを試みているとき「ああ、自分はこの地球でもっと「広く」生きていけるかもしれない」と思えてくるのです。そもそも、地球の表層に様々なaをつくって人類の生息地域を分類化し、メンタル面における民族という概念をつくり出したのは人間であって、地球の意図ではない。地球という惑星に生まれた生き物として、そんな人間社会の構造がもどかしくなることもあります。

4 たとえば海外を旅しているときはいつも、自分自身という意識を(エ)払拭して行動したいと考えます。何者でもない、地球上を流動体のように彷徨っているいろいろな地域の有り様を観察したい。「ヤマザキさんって人間が本当に好きなんですわね」と言われることがあります。人間は好きだとか嫌いだとかという視点で接するものではないと思っています。種族としての人類を苦手だと思うことはあっても、特化して人間万歳、人間大好き、などと感じることはまったくありません。犬や猫がそれぞれのコミュニティに属するように、私も人類のコミュニティに属していることを自覚しています。それだけです。私にとって人間は昆虫や植生や地質と同じ、地球の「有り様」なのです。

5 ですが、カブトムシや猫とは同種族としての経験を共有することはできません。一方でコミュニケーションの取れる人類とは黙っていても集う機会が増えます。実際、友人たちと食事なんかしていると、しゃべることは大抵他愛もない、どうでもいいようなネタだったりしますが、それもまた私にとっては人間の心理を知るうえで興味深い。どんな些細なことも、考察をすれば思いがけない発見があるからです。

6 旅が面白いのは、多様な文化圏の、多様な習慣をもった人間と接していると、彼らの背景に

ある歴史や地域性を通じて、地球の奥深い側面がどんどん頭めづらになっていくから。日本では「東大を卒業して一流企業に就職しました」と言えば自動的に付く**b**も、たとえばニューギニア島の山奥の部族には何の意味もありません。後天的に情報として身に付けたものに意識を囚とらわれないうようにするためにも、もの見方を常に(注1)デフォルト状態に保つためにも、旅でその土地の人と関わることは、人類の性質を知るうえでとても大切なことなのです。旅という手段によって、人間として本来備えもっているはずの機能を鍛えたいくなるこの気持ちは、私にとっての本能的な欲求と捉えています。

7 そして、人間という生き物には知性という要素が備わっています。ただ、この知性というものは扱いがなかなか難しく、多くの人は鍛えることを怠ってしまう。**【I】**以前そんな話を友人としていたら「ということは、マリはこの世の人間はみなブツダになればいいと思ってるわけ？」と笑われたことがあります。たしかに、もしみんながブツダ的悟りを得たら、人間社会は様々な欲求をめぐる争い事が少なくなり、自然環境の破壊も止まるかもしれません。

8 私はしかし、そういうことを言っているのではないのです。**【II】**

9 植物や昆虫やその他の動物が、生まれたときから備えている機能を100%駆使してこの地球で生きているのだとしたら、人類は果たしてどうなのか。知性は鍛えたからと言って100%という到達点があるものとも思えません。それにしてもあまりにもこの世には自らの思考力という機能を甘やかし、(オ)怠惰にし、そんな中途半端な状態でも、自負や虚栄で自分を固めて生きている人が多すぎるんじゃないかと多々思うのです。

10 旅では、そういった人類の知性の多様さも知ることができる。宗教や、環境、そして教養が生み出す価値観も果てしなく多様であることを知り、安心することもできる。**【III】**それが私の旅でのメリットなのですが、自粛期間は旅の代わりに、今まで以上に本を読んだり映画を観みたり、考え事をすることに時間を費やすことで、それなりの充足感を得られています。

11 それに加えて、(注2)今の私のように家族や友人など他者と過こす時間が少なくなれば、自分の考えを他者の言葉に置き換えたり、すり換えたりしてしまうことは減り、「自分の考えを自分の言葉で言語化する」という技がいつにも増して鍛えられていく。こんなことも、今みたいな状況でなければなかなかできないことだと思えます。**【IV】**

(ヤマザキマリ『たちどまつて考える』中央公論新社 二〇二〇年より。)

(注)

1 デフォルト状態——ここでは、固定観念をもっておらず、何の先入観もない状態のこと。

2 今の私——一年の半分を東京、残りをイタリアの夫の実家で過ごしていた「私||筆者」が、この文章を執筆している「今」はコロナ禍で東京の自宅に閉じ籠もる生活をしている、ということをいう。

問1 傍線部(ア)～(オ)の漢字の読みとして最も適当なものを、次の各群の①～④のうち

ちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は ～ 。

- | | | | | | | | | | |
|-----|---------------------------------|---|-------|---|------|---|------|---|-------|
| (ア) | <input type="text" value="13"/> | ① | ほう | ② | ふう | ③ | どう | ④ | すん |
| (イ) | <input type="text" value="14"/> | ① | かけつ | ② | かこつ | ③ | おもむ | ④ | たびゆ |
| (ウ) | <input type="text" value="15"/> | ① | さんざい | ② | しんざい | ③ | せんざい | ④ | そんざい |
| (エ) | <input type="text" value="16"/> | ① | ぶつしよく | ② | ぶつしき | ③ | ふつち | ④ | ふつしよく |
| (オ) | <input type="text" value="17"/> | ① | たいだ | ② | だいだ | ③ | だせい | ④ | だいじよう |

問2 空欄 a・b に入る語句として最も適当なものを、次の各群の①～④のうちか

ら、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は ・ 。

- | | | | | | | | | | |
|---|---------------------------------|---|----|---|-----------------------|---|--|---|---------------------|
| a | <input type="text" value="18"/> | ① | 玄関 | ② | 敷居 | ③ | 廊下 | ④ | 門扉 |
| b | <input type="text" value="19"/> | ① | 色 | ② | 曰 <small>いわ</small> く | ③ | 尾 <small>お</small> 緒 <small>ひれ</small> | ④ | 箔 <small>はく</small> |

問3

傍線部A「『アウェイ』という感覚が、私の日常にとっては必要不可欠なものでした」

とあるが、筆者がそう考えるのはなぜか。その理由の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 20。

- ① 地球から「地球のすべてをわかったつもりになって、自惚れるんじゃない」と挑発されているような感覚を覚える筆者は、自分の固定観念を脇に置いて様々な地域の姿を虚心に見つめるために「アウェイ」という感覚を感じる必要があるから。
- ② 人類の生息地域を分類化して民族という概念をつくり出したという人間社会の構造をもどかしく思う筆者は、地球上のいろいろな地域の有り様を観察したいと思うので、「アウェイ」という感覚をもてる知らない土地に出かけることが不可欠だったから。
- ③ 地球の奥深い有り様を知るために、旅により様々な地域の有り様を観察する筆者にとって、自分がよそ者であることを痛感させる「アウェイ」という感覚が、後天的に身につけた情報に囚われずにその地域の習慣や考え方を理解するうえで役に立つから。
- ④ 多様な文化圏の多様な習慣をもった人間と接して、彼らの背景にある歴史や地域性を通じて地球の奥深い側面がどんどん顕になっていく旅を面白いと思う筆者は、日常的に、知らない土地で感じる「アウェイ」という感覚を心から欲しているから。

問6 この文章の構成と内容について、次の(i)(ii)の問いに答えよ。

(i) この文章を四つの段落に分ける場合の段落分けとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 23。

- | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|-----|---|---|---|-----|---|----|---|------|---|-------|
| ① | 1・2 | / | 3・4 | ・ | 5 | / | 6・7 | ・ | 8 | / | 9・10 | ・ | 11 |
| ② | 1・2 | / | 3・4 | ・ | 5 | / | 6・7 | ・ | 8 | ・ | 9 | / | 10・11 |
| ③ | 1 | / | 2・3 | ・ | 4 | ・ | 5 | / | 6 | ・ | 7 | ・ | 8 |
| ④ | 1 | / | 2 | ・ | 3 | ・ | 4 | ・ | 5 | ・ | 6 | ・ | 7 |
| | | / | 8 | ・ | 9 | / | 10 | ・ | 11 | | | | |

(ii) この文章に筆者が付けている「小見出し」と筆者の主張の説明の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 24。

- ① 「人間としての機能を鍛えたい」
旅に出かけられない今は、たちどまって、自分の頭で考え自分の言葉で考えたことを明確化するという、人間ならではの機能である知性を育てるチャンスだ。
- ② 「チャンスをつかみ方」
自粛生活を余儀なくされている今、その事態をぼやくだけではなく、自分なりに意義を見つけて楽しく暮らす方法を考えることこそが人間らしい生き方だ。
- ③ 『『自粛』のススメ』
「自粛」は誰しもうれしくない状況だが、普段できないことが経験できるチャンスだということを知って、人間らしく知性を働かせて暮らそうではないか。
- ④ 「ピンチはチャンス！」
旅は、自分の足で歩きながら地球のあれこれを知るいいチャンスだが、自粛を強いられている今は、次の旅へ向けて知性を充電するチャンスなのだ。

三 次の問い（問1～11）に答えよ。解答番号は ～ 。

問1 次のア～ウの文の説明にあてはまる語句として最も適当なものを、後の①～④のうち

から、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は ～ 。

ア 物事の本来あるべきさまについての考え。

- ① 理念
- ② 通念
- ③ 思念
- ④ 情念

イ 何かが起こる確実性の度合い。

- ① 可塑性
- ② 偶奇性
- ③ 必然性
- ④ 蓋然性

ウ 考えたり行動したりするもとなる存在。

- ① 主眼
- ② 主体
- ③ 主権
- ④ 主旨

問2 次のア～ウの意味を表す語句として最も適当なものを、後の①～④のうちから、それ

ぞれ一つずつ選べ。解答番号は ～ 。

ア 時代錯誤。

- ① アウトサイダー
- ② キッチン
- ③ アナクロニズム
- ④ アウフヘーベン

イ 紋切型。型にはまったやり方。

- ① ステレオタイプ
- ② ジレンマ
- ③ モラトリアム
- ④ パラサイト

ウ 読み書きの能力。必要な情報を適切に選り利用する能力。

- ① モビリティ
- ② リテラシー
- ③ プライオリティー
- ④ サマリー

問3 次の各文のうち、敬語の使い方が誤っているものを、①～④のうちから一つ選べ。解

答番号は 。

① 「これからお食事をなされるそうですね。」

② 「これからお食事をされるそうですね。」

③ 「これから食事をされるそうですね。」

④ 「これから食事をなさるそうですね。」

問4 次の各文のうち、敬語の使い方が誤っているものを、①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 「どなたをお待ちでしょうか。」
- ② 「来週、拙宅にお伺いいただきたいのですが。」
- ③ 「この傘を拝借してよろしいでしょうか。」
- ④ 「お母様は、ご在宅でいらっしゃいますか。」

問5 次の各文の傍線部の「でも」のうち、他と種類が異なるものを、①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 一口でも食べたかった。
- ② 私でも知っていることだ。
- ③ 家でも作れそうなお菓子だ。
- ④ 「お茶でもいかがですか。」

問6 次の各文の傍線部の「と」のうち、他と種類が異なるものを、①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① まっすぐ行くと海に出る。
- ② 無事に大学生となる。
- ③ おもしろいと思った。
- ④ 友人と出かける。

問7 次の各文の傍線部の「より」のうち、他と用法が異なるものを、①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 今日より明日がいい。
- ② 誰よりも頑張ったと思う。
- ③ 姉は私より三つ年上だ。
- ④ 本で調べるよりほかに方法はない。

問8 次のうち、慣用句の表記として最も適当なものを、①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 瓢箪から駒 ひょうたん
- ② 案ずるより産むが安し
- ③ 待てば回路の日和あり
- ④ 怪我の高名 けが

問9 次の四字熟語のうち、「大喜びすること」という意味を表す語句として最も適当なものを、①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 羽化登仙
- ② 破顔一笑
- ③ 欣喜雀躍
- ④ 天真爛漫

問10 次の四字熟語のうち、「日ごろよくある、ありふれたこと」という意味を表す語句として最も適当なものを、①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 常套手段
- ② 常住不断
- ③ 常住坐臥
- ④ 日常茶飯

問11 次の故事成語のうち、「他人の良くない言行も、自分を磨くための助けになるといふこと」という意味を表す語句として最も適当なものを、①～④のうちから一つ選べ。解答

番号は 。

- ① 他山の石
- ② 呉越同舟
- ③ 破天荒
- ④ 助長

一般選抜Ⅱ期 国語 正答

大問	番号	正答
一	1	③
	2	③
	3	①
	4	②
	5	④
	6	②
	7	③
	8	④
	9	②
	10	②
	11	②
	12	③
二	13	②
	14	③
	15	③
	16	④
	17	①
	18	②
	19	④

	20	③
	21	③
	22	①
	23	③
	24	①
三	25	①
	26	④
	27	②
	28	③
	29	①
	30	②
	31	①
	32	②
	33	③
	34	①
	35	④
	36	①
	37	③
	38	④
	39	①